

「今後の学級編制及び教職員定数の 在り方に関する国民からの意見募集」

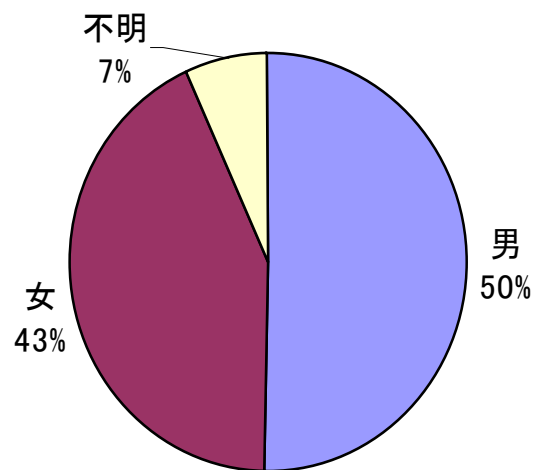
集計結果

平成22年6月

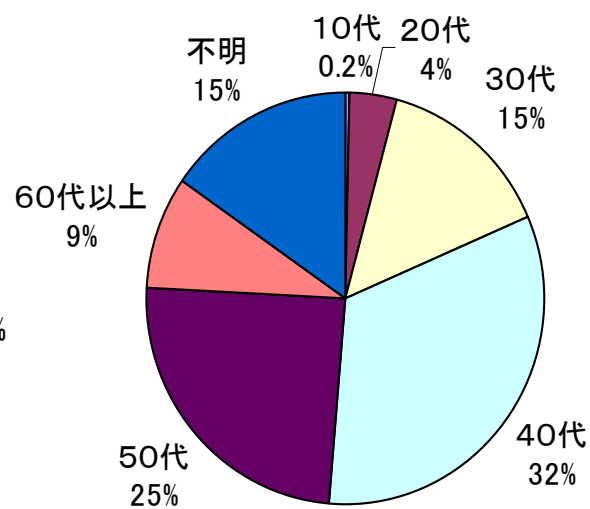
今後の学級編制及び教職員定数の在り方に関する国民からの意見募集について

- 募集期間 平成22年3月18日（木）～4月16日（金）
（文部科学省ホームページにおいて募集）
- 寄せられた意見の件数 1,020通
- 回答者の属性

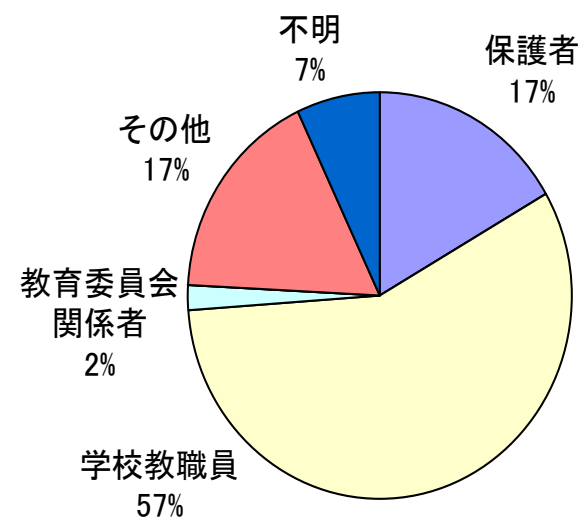
性別割合



年代別割合

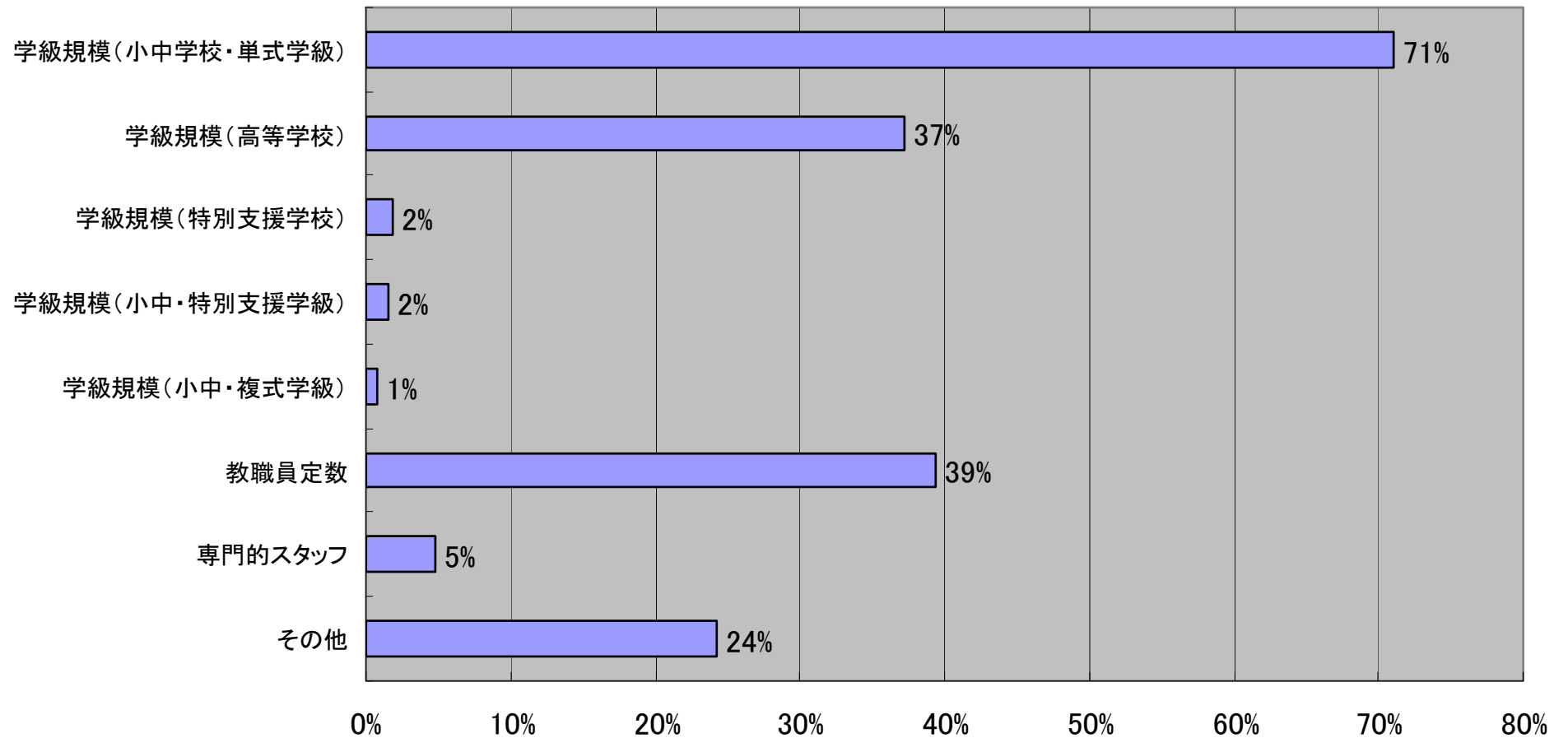


属性別割合



<主な意見内容>

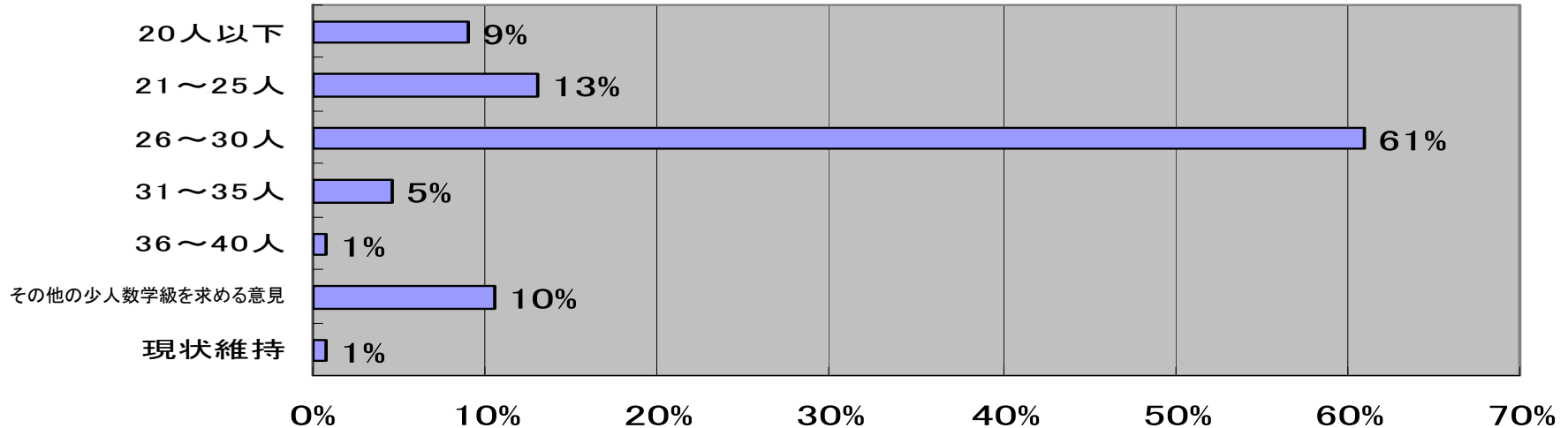
○回答者の約7割が小中学校の学級規模について意見を述べ、約4割が教職員定数について意見を述べている。



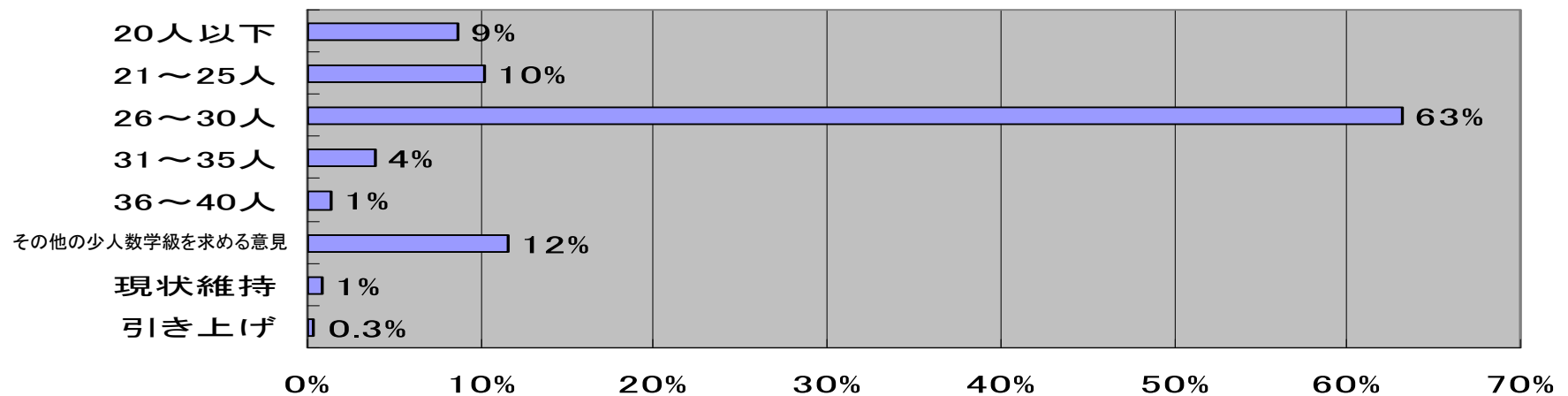
(注)複数の項目について回答している場合があるため、合計値は100%とならない

<望ましい学級規模>（校種別）

○小中学校の学級規模に関する意見のうち、望ましい学級規模として「26人～30人」を挙げる意見が約6割であった。



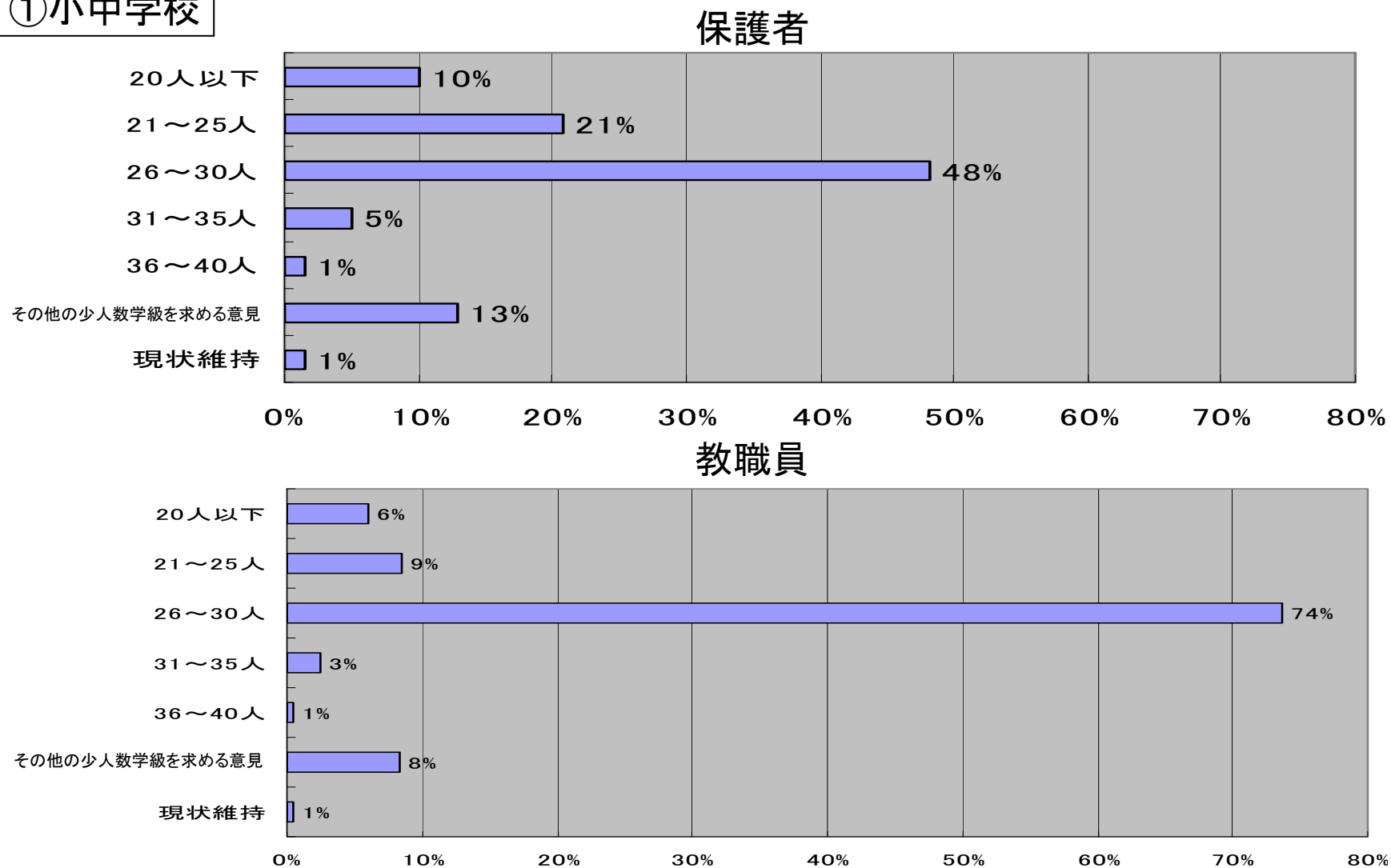
○高校の学級規模に関する意見のうち、望ましい学級規模として「26人～30人」を挙げる意見が約6割であった。



<望ましい学級規模（小中学校）>（属性別）

○教職員と比べて、保護者の方がより小規模の学級を望む傾向がある。

①小中学校

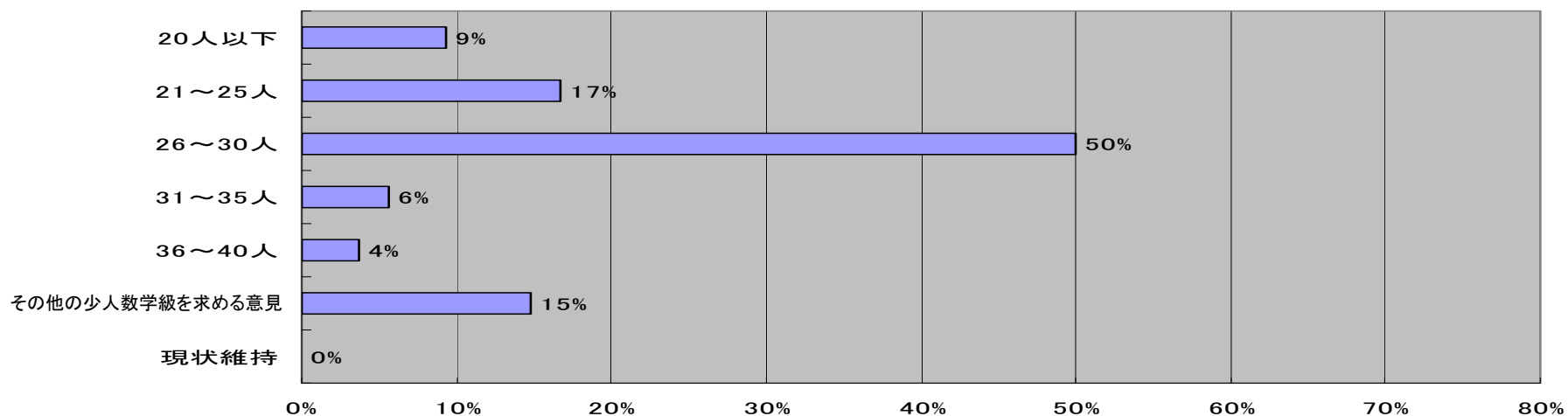


<望ましい学級規模（高校）>（属性別）

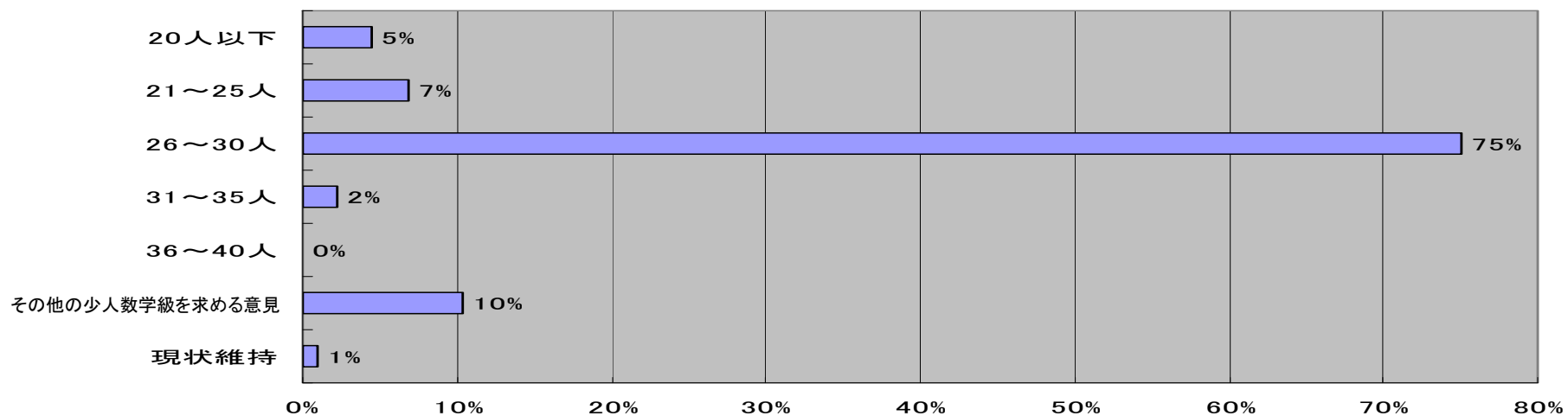
○教職員と比べて、保護者の方がより小規模の学級を望む傾向がある。

②高校

保護者

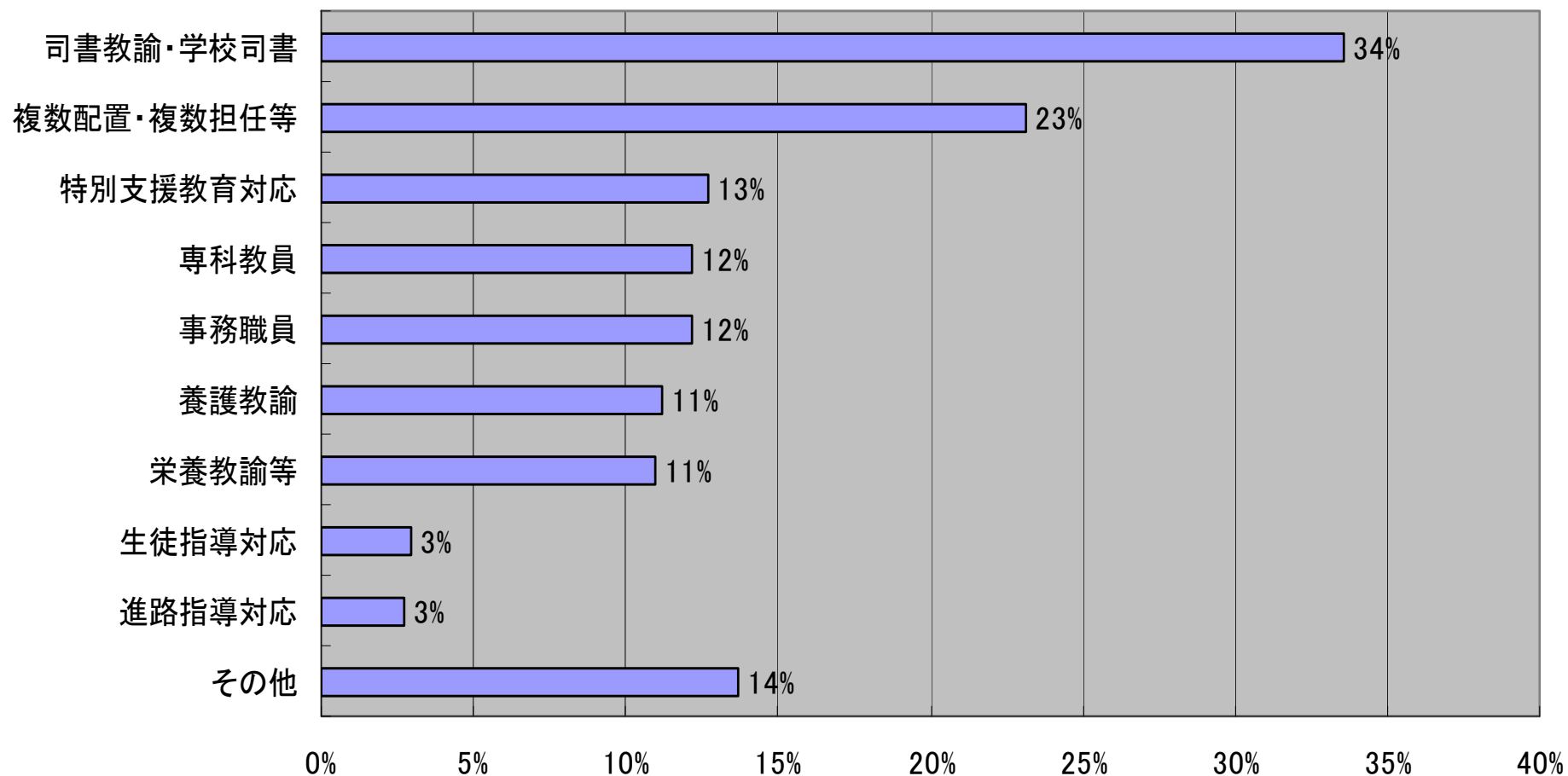


教職員



<教職員定数についての意見>

○定数改善については、司書教諭・学校司書、教員の複数配置・複数担任等を求める意見が多かった。



※その他の例：日本語指導対応、小規模校への加配、学力下位校への加配、地域渉外担当教諭への加配など

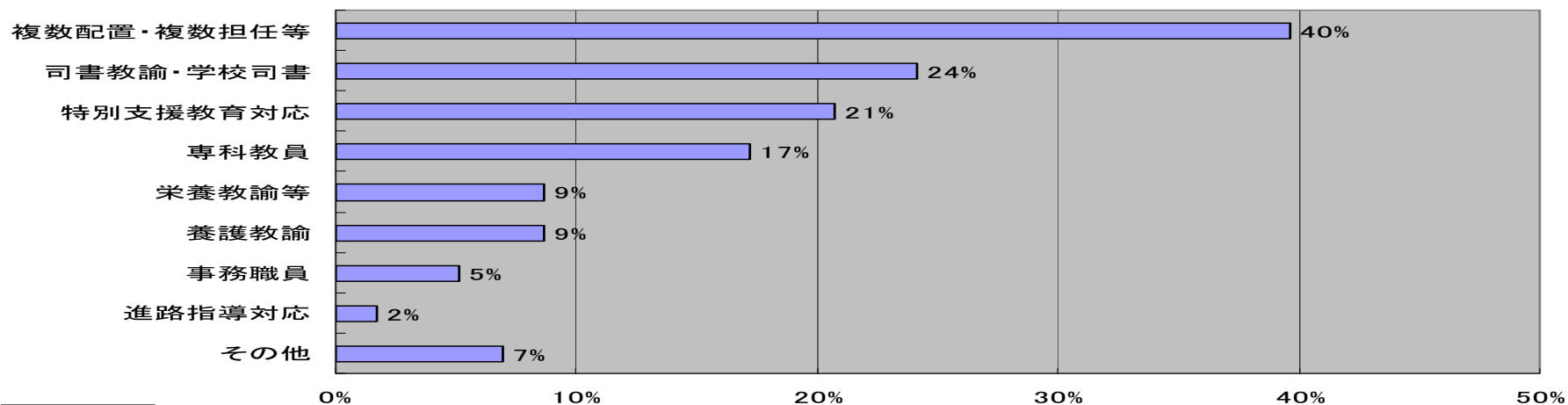
(注1) 数値は教職員定数に関する回答数(全402通)に対する割合

(注2) 複数の項目について回答している場合があるため、合計値は100%とならない

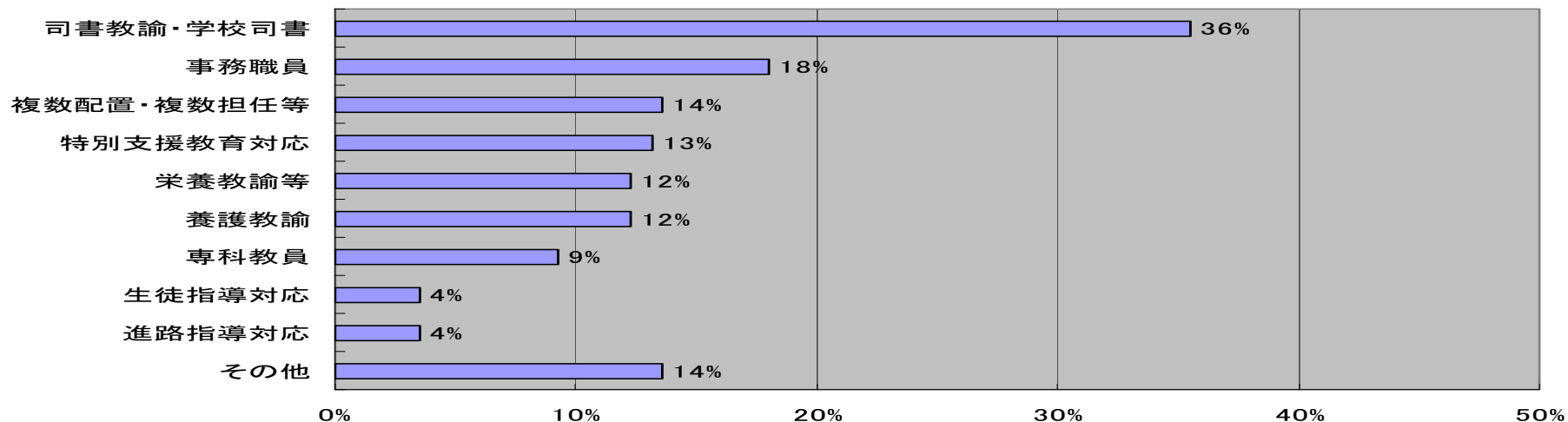
<教職員定数についての意見> (属性別)

○保護者は教員の複数配置・複数担任等を、教職員は司書教諭・学校司書の配置を望む意見が多かった。

保護者



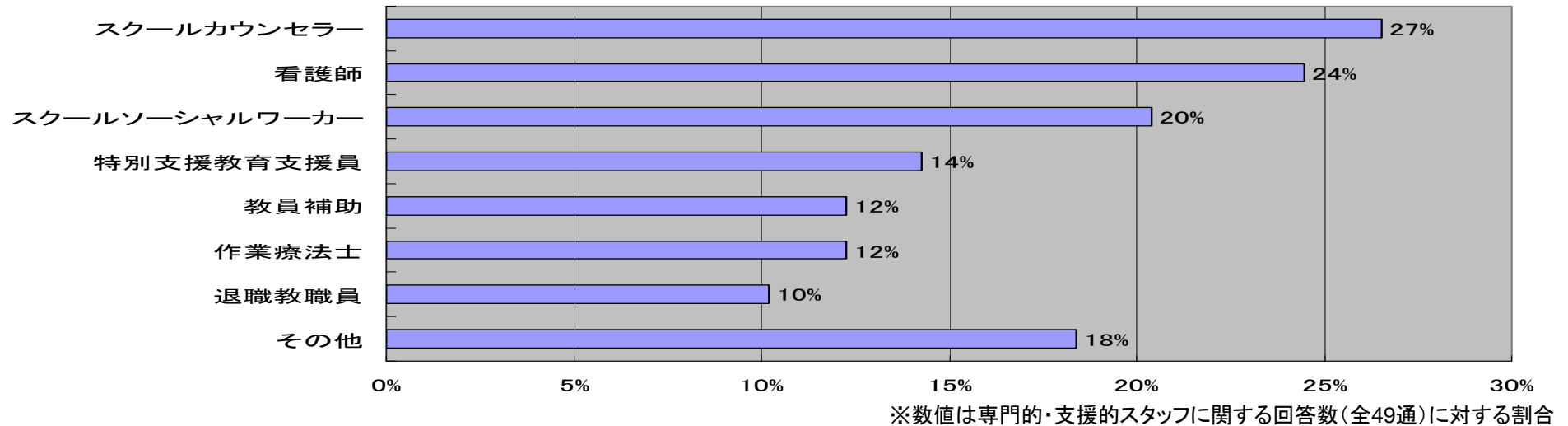
教職員



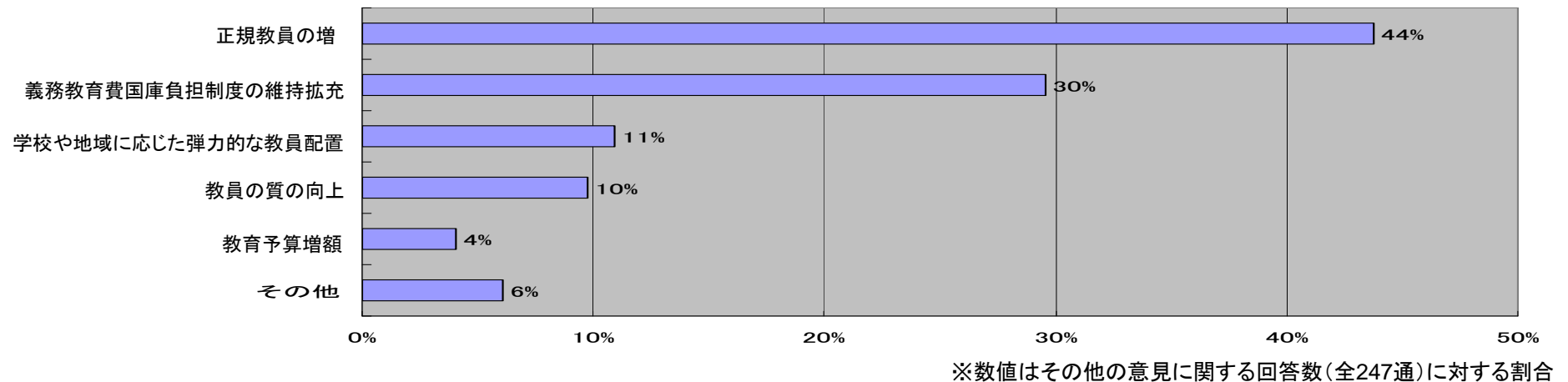
(注)複数の項目について回答している場合があるため、合計値は100%とならない

<その他の意見>

○専門的スタッフについては、スクールカウンセラー、看護師、スクールソーシャルワーカーの配置充実を望む意見が多かった。



○その他、正規教員の増や義務教育費国庫負担金制度の維持拡充を望む意見が多かった。



(注)両グラフとも、複数の項目について回答している場合があるため、合計値は100%とならない